

苦情解決経過記録簿

苦情受付日	平成 3 / 年 3 月 11 日	苦情受付担当者	主任保育士・稗島 明美 印
苦情申出人氏名	XXXXXXXXXX	苦情解決責任者	園 長 ・ 宇田津マドカ 印
苦情申出人住所	XXXXXXXXXX	TEL	XXXXXXXXXX
1、苦情内容			
<p>一時保育を2日間利用した。2日のお迎え時に、主任稗島からお迎えの母親に、様成君の様子を知らせた。話し合いの結果、母親が自分からあわてて電話してこられた。父親は「あーい」「普通はいい」と子どもを言っていると電話してこられた。</p>			
2、苦情解決経過			
<p>父親の電話を受け説明をし、その時の言葉は使っていないことを伝える。その後父親から何度も電話がある。園長と担当者との話し合いの場を設けた。園の都合により、母親に伝え、話し合いと不服を申し立て、その後一日に何度も電話してこられる。何度も説明しても、その時の言葉は使っていないと言っており、理解してもらえなかった。園長のこの問題は母親と稗島との間で起ったこと。当事者ではないから話し合いで解決してほしいかと父親に問う。</p>			
3、苦情解決の結果			
<p>園長の提案を受け、父親のこの問題は稗島と妻の問題であった。言った、「言わぬ」の繰り返しをしてほしい。自分は現場にいないから、実際どうであるかわからない。今回の件はこれで終わりにしたいと、首で苦情を取っ下げてこられた。</p>			
第三者委員意見要請の要否	要・ <input checked="" type="radio"/> 否	要請の期日	平成 年 月 日
第三者委員意見書			
表 承 一 大 印 第三者委員氏名 田 村 ひさ子 印			